

1. 「茶馬古道をゆく」

小林 尚礼

2008 年秋、梅里雪山を出発してラサそしてギャンツェまで、茶馬古道を辿った。今回はインドルートの「ラサからギャンツェまで」の旅の様子と、旅の最後に寄った四川ルートの起点である「雅安から康定」の様子も紹介する。

2. 「雲南の食の世界」ー過橋米線のふるさとを訪ねてー

茂田井 円

ガイドブックなどで雲南料理のトップにあげられる過橋米線（客の目の前で、熱々のスープに米製の麺とさまざまな具を入れて食べるもの）。その発祥の地とされる雲南省南東部の蒙自、個旧、建水の地を訪ね、その伝承を検証するとともに、その地に伝えられる米線の製法を紹介する。（茂田井 記） <http://blog.goo.ne.jp/madoka1994>（ご自身のブログ）

3. 「西北ベトナムの盆地世界」ー黒タイ族の村落生活ー

樫永 真佐夫

ラオス北部や中国雲南省と国境を接する西北ベトナムは、多民族・多言語混交地域として知られている。その複雑な民族分布は、盆地、山腹、高地という地勢に応じて理解できることが知られている。この発表では、各盆地で水稲耕作を営み、首領を頂点とする階層的な盆地小国家（ムアン）を築いてきた黒タイ族の村落生活の現状を報告する。（樫永 記）抗仏戦勝利の激戦地「ディエンビエンフーの今」の話も聞けるかもしれません。（前田 記）

4. 「雪氷圏の変動を追う」ー妙高・ヒマラヤ・南極ー

横山 宏太郎

横山氏はネパールヒマラヤでの氷河調査や、国内での積雪の分布・変動研究に従事。日本山岳会チョモランマ登山隊、京都大学ブータンヒマラヤ登山隊（マサ・コン峰初登頂）、日中合同梅里雪山登山隊（登頂断念）などに参加。第 14 次（出発 1972 年）と第 35 次（出発 1993 年）の南極観測隊に参加、第 35 次では越冬隊長を務めた。2008 年には「大日岳巨大雪庇の形成機構に関する研究」で第 10 回秩父宮記念山岳賞を他の 2 人と共に受賞。受賞の内容についても少し触れていただければと思います。新潟県上越市在住。（前田 記）

5. 「河西回廊（シルクロード）の今」ーゴビ砂漠の湖・居延沢ー

中尾 正義

タクラマカン沙漠の東にある祁連山脈（祁連山は匈奴語で「天の山」の意）の北麓に沿ってシルクロードが通っている。河西回廊と呼ばれる地域で、その北側に居延と呼ばれていた地がある。居延の地には 900 年余り昔にカラ・ホト（黒水城）と呼ばれる都があった。豊かな水に恵まれた居延沢（居延海ともいう）という湖の湖畔である。時が流れ、居延沢の水も次第に涸れていき、700 年ほど前には居延沢に流れ込んでいた黒河という河の水が湖に来なくなった。居延沢はもう一つの彷徨える湖なのです。今回は、最近の研究による居延沢の歴史を紐解き、水問題にも言及する。（中尾 記）